

# 奈良井宿かわらばん

奈良井宿観光案内所 0264(34)3160

## 八幡神社・杉並木・二百地蔵

### 町並み周辺のみどころ(その1)

八幡神社は、JR 奈良井駅から坂を50メートルほど上がったところにあります。

長い石段を登ると、向かって右に本殿が、左に舞屋まいやが向かいあって建っています。

八幡神社は誉田別尊ほんだわけのみこと（応神天皇）おうじんを祭神とする下町200戸余りの氏神で、奈良井ならい義高よしたかの居館うしどらの丑寅うしとらの方向(北東)にあたり、鬼門除けの守護神として崇拝されたと伝えられています。

本殿は江戸時代末に建築された一間社流造りで、拝殿のなかに収められています。



舞屋もやはり江戸時代末に建築されたもので、正面から見ると三角形の屋根に、彫刻をほどこした大きな梁が渡されています。内部には中央に回り舞台があつて、以前はお祭りなどのとき芸能がおこなわれていたそうですが、現在は春祭などの休憩所や集会所として使われています。

八幡宮の石段の途中から右に折れる杉並木の道があります。道の両側に並ぶ十数本の杉の巨木は、この道が中山道であった当時からのものです。(裏面に続く)





整然と並ぶおよそ二百体の石仏。  
風雪にさらされた素朴で豊かな表情は心を和ませてくれます。



さらにこの道を進むと、左手に小さなほこら祠とともに多数の石仏がまつられています。二百体の苔むした地藏さまが並んでいます。地藏よりも観音像が多くまつられています。これらは鉄道敷設工事の折りに周辺

から集められたものです。正確に数えると百九十四体あります。祈るあり、笑うあり、怒るあり。人知るや知らずや、地にどっかと座って地域の発展と安全を祈っています。

注 ほんだ わけのみこと おう じん てんのう  
誉田別尊(応神天皇)

五世紀前後ころの第十五代天皇。十四代天皇ちゅうあい仲哀天皇の第四皇子で、母は神じん功皇后。大分県宇佐市の宇佐神宮(宇佐八幡宮)を本源とする。

武家の守護神であり、武神で、軍神である。(名古屋 片山八幡神社 HP より)